

令和7年度 保土ヶ谷図書館の事業

《目次》

1 ボランティアにご協力いただいた事業	3p
【コラム】ボランティアのその他のご活躍	
【コラム】地域で活躍する民間の移動図書館「わくわくルーナ号」	
2 他の組織、企業等にご協力いただいた事業	8p
【コラム】学校連携事業	
3 保土ヶ谷区読書活動推進事業	11p
【コラム】第三次保土ヶ谷区読書活動推進目標の策定	
4 定例事業など	15p
【コラム】「りんごの棚」の新設	
5 広報事業	18p
6 「図書館への意見・提案」	19p

◆年間事業一覧◆

実施月	事業名	連携先
4月	・春の特別おはなし会	・ばばーの会
	・大人のための朗読会	・ぱびるす朗読倶楽部
5月	・ブックマーケット（本の無料市）	・保土ヶ谷区役所
7月	・大人のためのおはなし会	・ばばーの会
	・大人のための朗読会（2回目）	・ぱびるす朗読倶楽部
	・図書館のお仕事体験（一日図書館員）	
8月	・ものづくりワークショップ 「未来へのスイッチ！高校生と挑む3つのプロ体験」	・神奈川県立商工高等学校
	・中学生・高校生の図書館のお仕事体験	
9月	・「ほ도가やファミリーフォトパーク」でのおはなし会	・ほ도가や わらべうたの会 ・保土ヶ谷区役所
	・「エンディングノート・認知症普及啓発映画上映会」での図書展示	・保土ヶ谷区役所
	・図書館使い方講座（町内会向け）	
10月	・ぴーまん保育園さんと親子おはなし会	
	・大人のための朗読会（3回目）	・ぱびるす朗読倶楽部
11月	・まずはここから！絵本の読み聞かせのコツのコツ	
	・読書バリアフリー講座「誰もが読書を楽しめる世界へ ^{ディジー} DAISY図書の活用」	・日本DAISYコンソーシアム
	・ストーリーテリングおはなし会	・星川おはなしの会
	・「としよかんビンゴ」と「本の木」	・ ^{キックカフェ} KIKCAFE学生部 ・保土ヶ谷区役所
12月	・保土ヶ谷区読書活動推進講演会「読書は伝えるまでが面白い—本を語り、読書文化を育てる—」	・未来屋書店（イオン天王町店） ・保土ヶ谷区役所
1月	・大人のための朗読会（4回目）	・ぱびるす朗読倶楽部
2月	・大人のためのおはなし会（2回目）	・ばばーの会
	・神奈川県行政書士会講演会 「いまからトライ！小さな開業・副業のすすめ」	・神奈川県行政書士会
	・「 ^{フレイ} 星天qlayの日」での紙芝居口演	・えかたり〜べ ・株式会社 相鉄ビルマネジメント ・YADOKARI株式会社
3月	・コミュニティハウスでの絵本セットの貸出開始	・保土ヶ谷区区民利用施設協会 ・ワーカーズコープ・センター事業団 ・保土ヶ谷区役所
	・「 ^{ホシテンフェア} HOSHITEN FAIR 2026」でのおはなし会 （移動図書館「わくわくルーナ号」 with おはなし玉手箱）	・おはなし玉手箱 ・社会福祉法人あおい会 ・ほ도가や市民活動センターアワーズ ・保土ヶ谷区役所
	・本の検索機 使いかた講座	

※実施頻度の多い定例事業は除いています。

Ⅰ ボランティアにご協力いただいた事業

(1) 大人のためのおはなし会 [①7月5日 参加者:10人、②2月7日 参加者:12人]

絵本の読み聞かせやストーリーテリングなど「耳からの読書」の機会を提供し、多様な読書の楽しみ方を提示して読書活動への関心を高め、図書館の利用促進につなげることを目的とした事業です。地域で活動している読み聞かせボランティア「ばばーるの会」のみなさんと協働で実施し、地域の読書活動の担い手のスキルアップにもつなげています。参加者からは「初めて参加したが、おはなしの世界に引き込まれた」、「暗記力に驚きました」などの感想をいただきました。



おはなしの内容を事前に全て覚えて、
何度かリハーサルも行い、
本番では何も見ないで語ります

(2) 「ほ도가やファミリーフォトパーク」でのおはなし会 [9月20日 参加者:79人]

親子向けイベントとして今年度初めて開催された「ほ도가やファミリーフォトパーク」で、小さなお子さんを連れた来場者に本に親しむきっかけを提供することを目的として実施した事業です。地域で活動している読み聞かせボランティア「ほ도가や わらべうたの会」のみなさんにご協力いただきました。相鉄線星川駅-天王町駅間の高架下施設「星天^{フレイ}qlay」のCゾーンの柔らかな芝生の上で、わらべうたや絵本の読み聞かせを一緒に楽しんでいただきました。

なお、本事業は保土ヶ谷区役所と連携して実施しました。



「ほ도가や わらべうたの会」のみなさん



みなさん、芝生の上でリラックスして
紙芝居を楽しんでいます

(3) 「としょかんビンゴ」と「本の木」

【11月1日から12月26日まで 参加者：115人(としょかんビンゴ)、225人(本の木)】

遊び形式のイベントで楽しく図書館と読書に親んでもらうことで、子どもたちに新たな本と出会うきっかけを提供することを目的とした事業です。地域で活動しているボランティア「KIKCAFE学生部」のみなさんにご協力いただきました。学生ならではのアイデアを活用した独創的なイベントを、たくさんの子どもたちが楽しんでいました。

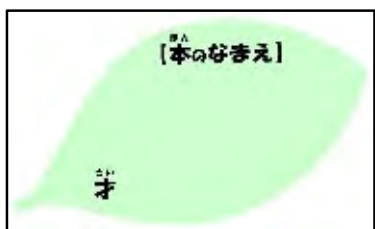
なお、本事業は保土ヶ谷区役所と連携して実施しました。



「としょかんビンゴ」は、マスに書いてある内容をクリアしてビンゴを目指します



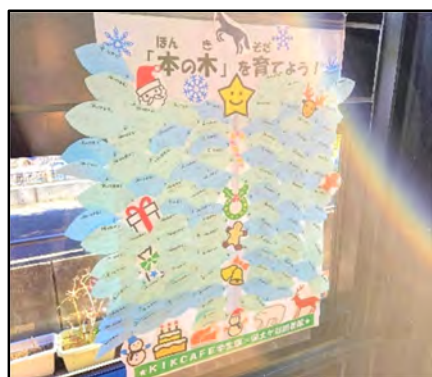
子どもに「としょかんビンゴ」の遊び方を説明する「KIKCAFE 学生部」のみなさん



「本の木」は、子どもたちに好きな本の名前を1つだけ葉っぱに書いてもらい、その葉っぱを木に貼って、大きく育てます



葉っぱを木に貼る「KIKCAFE 学生部」のみなさん



たくさんの子どもたちに協力してもらったおかげで、立派な「本の木」が育ちました！

(4) 「星天^{クレイ}qlayの日」での紙芝居口演 [2月21日 参加者:39人]

相鉄線星川駅-天王町駅間の高架下施設「星天^{クレイ}qlay」で開催されたイベント「星天^{クレイ}qlayの日」で、来場者に読書に親しむきっかけを提供することを目的として実施した事業です。地域で活動している読み聞かせボランティア「えかたり〜べ」のみなさんにご協力いただきました。ボランティアのみなさんが地域の民話や昔話をもとに自分たちで作ったオリジナル紙芝居を名調子で口演し、子どもから大人まで、多くの人を楽しんでいました。

なお、本事業は「株式会社相鉄ビルマネジメント」及び「YADOKARI^{ヤドカリ}株式会社」と連携して実施しました。



「ほどがや えかたり〜べ」のみなさん



地域の民話や昔話の紙芝居は、
大人から子どもまで楽しめます

(5) 「HOSHITEN FAIR 2026」でのおはなし会 [3月14日 参加者:48人]

相鉄本線星川駅の近くにある川辺公園で開催されたイベント「HOSHITEN FAIR 2026」で、小さなお子さんを連れた来場者に本に親しむきっかけを提供することを目的として実施した事業です。地域で活動している読み聞かせボランティア「おはなし玉手箱」のみなさんにご協力いただいて実施しました。当日は地域で独自に活動している移動図書館「わくわくルーナ号」の隣で、多くのわらべうたや絵本の読み聞かせを参加者に楽しんでいただきました。

なお、本事業は「社会福祉法人あおい会」、「ほどがや市民活動センターアワーズ」及び保土ヶ谷区役所と連携して実施しました。



「おはなし玉手箱」のみなさん



青空の下、みんなでわらべうたを
楽しんでいます

(6) 土曜日のおはなし会 [毎月 第4土曜日(※8月、12月を除く)]

一人でおはなしを聞くことができる幼児から小学生を対象とした、読書活動の推進と図書館利用の促進を目的とした事業です。当館で以前から実施している他のおはなし会もありますが、「平日は参加しづらい」という利用者の声を受け、令和5年度から実施しています。地域で活動している読み聞かせボランティア「ばばーの会」及び「星川おはなしの会」のみなさんにご協力いただきました。4月の「春の特別おはなし会」を始めに、家族と一緒に参加できるおはなし会として好評です。



「ばばーの会」のみなさん



家族と一緒に参加できます

(7) 大人のための朗読会「ぱびるす朗読の扉」 [四半期に1回 参加者:計96人]

厳選した文学作品の朗読を聴く「耳からの読書」の機会を提供し、多様な読書の楽しみ方を提示して読書活動への関心を喚起し、図書館の利用促進につなげることを目的とした事業です。地域で活動している朗読グループ「ぱびるす朗読倶楽部」のみなさんにご協力いただいて実施しました。昨年度から開催しており、今年度も多くの参加者に文学作品の朗読を耳で聴く面白さを体験していただきました。



毎回たくさんの方にご参加いただきました



みなさん朗読をじっくり味わっています

(8) ストーリーテリングおはなし会 [11月29日 参加者:8人]

隔月で実施している「ストーリーテリング勉強会」(p.15参照)の受講者のみなさんに向けて、勉強会の成果を発表できる場をつくることを目的とした事業です。受講者は自ら選んだおはなしを覚え、読み聞かせボランティア「星川おはなしの会」として初めて一般の参加者に向けて発表しました。今後もスキルアップを重ね、地域の読書活動推進の担い手になることが期待されます。

【コラム】ボランティアのその他のご活躍

「株式会社未来屋書店(イオン天王町店)」の「絵本おはなし会」で、地域で活動している読み聞かせボランティア「おはなし玉手箱」のみなさんが活躍しています。書店の依頼を受け、令和6年1月から隔月で、月に1回土曜日に店内の特設スペースで絵本の読み聞かせを実施しています。地域の書店との連携はあまり例がなく、今後ますますのご活躍が期待されます。



書店の中という特別な場所で、子どもたちがおはなしの世界を楽しんでいます

【コラム】地域で活躍する民間の移動図書館「わくわくルーナ号」

保土ヶ谷区などで認定こども園や保育所を運営する社会福祉法人あおい会のみなさんが、独自に移動図書館の運行をはじめました！保土ヶ谷区内の3つの公園(①星川中央公園、②県立保土ヶ谷公園、③常盤公園)に、毎月1回ずつ約600冊の絵本を載せて訪問しています。当館も絵本の選び方のアドバイスなど、微力ながらお手伝いさせていただきました。



気に入った絵本を、お子さんとその場で読むこともできます

2 他の組織、企業等にご協力いただいた事業

(1) ものづくりワークショップ「未来へのスイッチ! 高校生と挑む3つのプロ体験」

〔8月5日 参加者:30人〕

ものづくりの楽しさを知るワークショップと関連図書の展示をとおして、子どもに新たな読書のきっかけを提供することを目的とした体験型事業です。ものづくりに関連した数々のコンテストで実績を残し、様々な地域貢献活動にも取り組んでいる神奈川県立商工高等学校のみなさんにご協力いただいて実施しました。当日はバリエーション豊かな3つのワークショップを開催して、講師は高等学校の生徒が担当しました。参加した子どもたちは、少し年上のお兄さん・お姉さんたちにやさしくレクチャーを受け、楽しそうにものづくりに熱中していました。



ワークショップ① 「花や植物を用いたレジン体験」の様子



ワークショップ② 「WIND CARづくり&WIND CARレース」の様子



ワークショップ③ 「電気工事士体験&テーブルタップづくり」の様子



ワークショップで
興味が湧いたら、
その場で図書館の本が読めます

(2) 「エンディングノート・認知症普及啓発映画上映会」での図書展示

〔9月25日 参加者：247人〕

「エンディングノート・認知症普及啓発映画上映会」の参加者向けに関連図書を会場で紹介し、イベントのテーマについて理解を深めるきっかけを提供するとともに、図書館に関心を持ってもらう機会をつくることを目的とした事業です。「認知症の人や、その家族が書いた本」、「終活の参考になる本」など5種類の本を会場で展示し、併せてそれらの本を掲載したブックリストを配布しました。参加者にはどちらも好評で、「この本をさっそく図書館で借りてみる」、「こういったブックリストがあると助かる」などの感想をいただきました。

なお、本事業は保土ヶ谷区役所と連携して実施しました。



会場の公会堂に展示した本の様子



ブックリストは当館 HP にも掲載中です

(3) 読書バリアフリー講座「誰もが読書を楽しめる世界へ ^{デージー}DAISY図書^{の活用}」

〔11月19日 参加者：11人〕

障害や高齢などにより活字の図書を読むのが困難になっている方や、その支援者を対象に、^{デージー}DAISY図書について周知することを目的とした事業です。読書バリアフリーの普及啓発活動に長年携わっている専門家を講師に招き、障害者への聞き取り動画等を活用しながら、参加者に詳しく説明しました。参加者からは、「関係者のこれまでの取組や苦勞が分かった」、「障害の有無に関係なく、誰もが読書を楽しめたらいいと思う」などの感想をいただきました。

なお、本事業は「^{デージー}日本DAISYコンソーシアム」と連携して実施しました。



講師に野村美佐子さんをお招きしました



みなさん、熱心に聞き入っています

(4) 神奈川県行政書士会講演会「いまからトライ!小さな開業・副業のすすめ」

[2月18日 参加者:39人]

社会的に関心が高まっている開業、副業について利用者が理解を深め、行動するきっかけを提供するとともに、市立図書館の関連図書を展示して普段は手に取ることのない本を読む機会を作ることを目的とした事業です。現役の行政書士が現在の社会の状況を踏まえ、事業を営む上での基礎知識から注意点などについて、時おりクイズも交えて参加者に詳しく説明しました。参加者からは、「とても分かりやすかった。力強く背中を押してもらった思いだ」、「思いだけでは立ち行かないことが再認識できて良かった」などの感想をいただきました。

なお、本事業は「神奈川県行政書士会」と連携して実施しました。



講師のクイズに、たくさんの手が挙がります

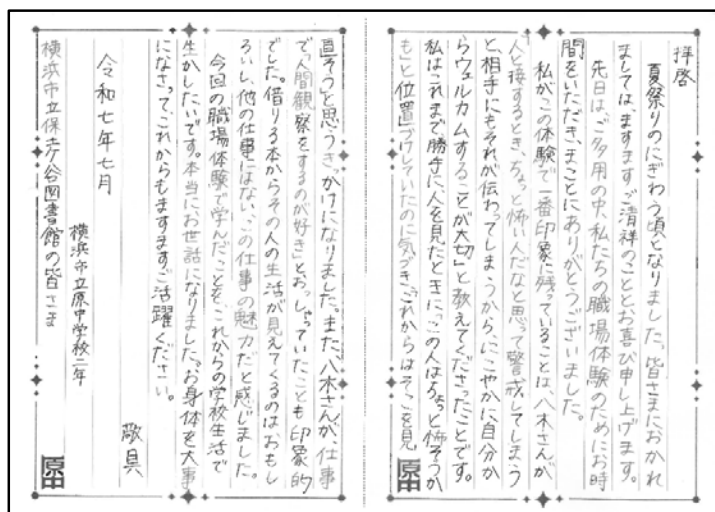


講座の後は無料個別相談も実施しました

【コラム】学校連携事業

図書館は各区の公立小中学校と連携し、子どもたちの読書環境充実のため様々な取組を実施しています。当館でも、次のような取組を実施しました。

- ◆図書館見学の受入
(6回 参加者:計302人)
- ◆職業体験学習の受入
(3回 参加者:計6人)
- ◆職業講話の講師派遣
(1回 参加者:計40人)
- ◆教職員研修の講師派遣
(1回 参加者:計51人)
- ◆学校図書館への出張相談
(1回 参加者:計11人)



職場体験学習に来た生徒さんのお礼状です
(原中学校)

3 保土ヶ谷区読書活動推進事業

(1) 読書活動推進講演会「読書は伝えるまでが面白い—本を語り、読書文化を育てる—」

[12月13日 参加者:250人]

多くの区民に読書に親しむきっかけを提供することを目的とした事業です。今年度は**動画クリエイター**の「けんご@小説紹介」さんを講師にお招きし、「読書は伝えるまでが面白い」をテーマに、ご自身の経験をもとに読書の魅力について語っていただきました。さらに講演後は、事前に募集した中学生・高校生7名が登壇者となって、講師と「理想の図書館・書店」、「若者の読書離れ」などについて語るトークセッションを実施しました。「本は自分の人生を変えてくれるものであり、大切だと分かった」、「若者の話が面白かった。近所の中高生と話してみたいくなった」、「自分と同年代の人のトークセッションが刺激になった」など、好意的な感想を大変多くいただきました。講演会当日に撮影した動画の期間限定配信も、令和8年3月末まで実施しています。

なお、本事業は「株式会社未来屋書店(イオン天王町店)」及び保土ヶ谷区役所と連携して実施しました。



講師の話にみなさん引き込まれていました



若い登壇者のみなさんはしっかり意見を持っていて、トークセッションも盛り上がりました



サイン会は今年も長蛇の列！ けんごさんのパートナーで小説家の「木爾チレン」さんも助っ人に！



けんごさん、登壇者のみなさん、ありがとうございました！

(2) コミュニティハウスでの「絵本セット」の貸出開始 [令和8年3月から]

0歳から2歳までのお子さんと保護者を対象とした、より身近な場所で読書を楽しんでいたことを目的とした事業です。当館の司書が自信をもっておすすめする絵本が6冊入ったセット（全5種類）が、昨年度に区内の地区センター4か所で借りられるようになったのに続き、今年度は区内のコミュニティハウス4か所で借りられるようになりました。セットには、「わらべうたの本」、「言葉を楽しむ絵本」、「動くものの絵本」、「食べ物や動物の絵本」など色々な絵本がバランス良く入っており、多くの方にご利用いただいています。実際に利用した人からは、「借りる絵本を選ぶのに悩まなくて済むのはありがたい」、「近所の地区センターやコミュニティハウスで借りられるのが嬉しい」などの感想をいただきました。

なお、本事業は「保土ヶ谷区区民利用施設協会」、「ワーカーズコープ・センター事業団」及び保土ヶ谷区役所と連携して実施しました。



桜ヶ丘コミュニティハウス



常盤台コミュニティハウス



上菅田笹の丘コミュニティハウス



権太坂コミュニティハウス

(3) ブックマーケット(本の無料市) [5月18日 ※『ほ도가や花フェスタ』内で実施]

区民に本をきっかけとしたコミュニケーションの機会を提供することを目的とした事業です。事前に集めたリユース図書を、簡単なアンケートに回答した来場者に自由に選んで持ち帰っていただきました。今年で3回目の実施となりましたが、647人の方にご来場いただき(※昨年の来場者数:788人)、本の配付冊数も約1,200冊と大変好評でした。来場者からは、「自分が好きな本を別の人にも読んでもらえるのは嬉しい」、「SDGs^{エスディーゼーズ}の観点からも良い取組だと思う」などの感想をいただきました。

なお、本事業は保土ヶ谷区役所と連携して実施しました。



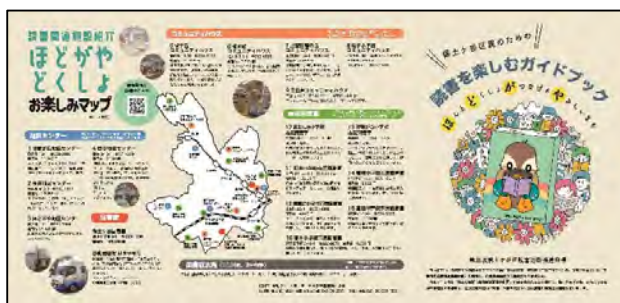
設営したブースの様子



たくさんの方にご来場いただきました

【コラム】第三次保土ヶ谷区読書活動推進目標の策定

令和7年3月に「第三次横浜市民読書活動推進計画」が策定をされたことを受けて、保土ヶ谷区でも、これまでの成果や課題等を踏まえ、社会情勢の変化に対応した第三次保土ヶ谷区読書活動推進目標を策定しました。



↑三つ折り両面印刷の、A4サイズのリーフレットです↓



詳しい内容は、リーフレット『保土ヶ谷区民のための読書を楽しむガイドブック』に掲載しています。
「ほ도가やどくしよ お楽しみマップ」も併せて掲載しています。
当館のほか、保土ヶ谷区役所や区内の各施設で配布しています。
ぜひお手にとってご覧ください！

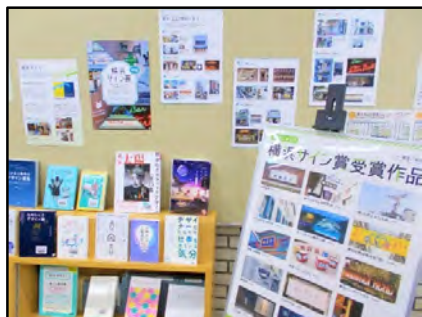


〈保土ヶ谷区読書活動推進事業のページ〉

(4) 企画展示

利用者に新たな本と出会う機会を提供することを目的とした事業です。区の読書活動推進事業の一環として、令和3年度には3階に、令和5年度には2階に専用の展示架を設置しました。毎月司書がテーマを決めて選んだ図書を展示していますが、見通しの良い場所のために多くの利用者が足を止め、気になった本を手にとって読んだり、そのまま借りたりしています。

実施月	テーマ(3階 大人向け)	テーマ(2階 子ども向け)
4月	本の本あつめました。	春をさがしてみよう
5月	もっと知りたい江戸時代	とりのほん
6月	ネット世紀の暮らし	おてんきの本
7月	本で旅するアフリカ	
8月	終戦 80 年 戦中戦後の記録	「よんでみようこんなほん」 関連図書展示
9月	横浜サイン展 巡回展 「屋外広告物からはじまる街の魅力づくり」	木の実 くだもの きのこの本
10月	地元のことなら郷土資料	スポーツ・運動の本
11月	保土ヶ谷区読書活動推進講演会 講師「けんご@小説紹介」氏 関連図書展示	おいしいたべものの本
12月	贈り物の本	クリスマスとふゆの本
1月	すべてのひとが読書を楽しむために	日本の文化を知ろう
2月	学びなおそう! ビジネスの知識	大人も不思議 たくさんのふしぎ
3月	明日のまちをつくる	いろいろな乗り物の本



3階の展示架は大人向けです



2階の展示架は子ども向けです

4 定例事業など

(1) 親子おはなし会 [毎月 第3木曜日]

0歳から2歳までのお子さんと保護者を対象とした、読書活動の推進と図書館利用の促進を目的とした事業です。わらべうたや絵本の読み聞かせを親子で楽しむ会として実施しています。

毎回盛況で、多くの方に参加いただきました。

(2) 子どもおはなし会 [毎月 第1・3水曜日]

一人でおはなしを聞くことができる幼児から小学生を対象とした、読書活動の推進と図書館利用の促進を目的とした事業です。3月末時点で、合計21回(夏休みの特別おはなし会3回を含む)開催しました。

(3) 土曜日のおはなし会(再掲)

(4) 大人のためのおはなし会(再掲)

(5) ストーリーテリング勉強会 [隔月 第1木曜日 参加者:計47人]

令和5年度の「ストーリーテリング入門講座」を受講した人を対象に、アフターフォローをすることを目的とした事業です。参加者が自ら選んだおはなしを覚えて発表し、講師が講評やアドバイスをを行いました。今年度は勉強会の成果を発表できる場として、「ストーリーテリングおはなし会」も初めて行いました。(p.7参照)

(6) まずはここから! 絵本の読み聞かせのコツのコツ

[①11月6日 ②11月13日 参加者:計10人]

読み聞かせボランティアとして活動を始めたばかりの人や、これから活動を始める予定の人を対象に、その手法だけでなく、楽しさ・奥深さを学んでいただくことを目的とした事業です。

参加者は活動を始めて日が浅い人が多く、「本の持ち方など、基本的なテクニックが学べて良かった」、「ほかの参加者の発表が参考になった」、「アドバイスが的確で、自分では気づきにくい改善点に気づけた」などの感想をいただきました。将来の地域の読書活動の担い手としての活躍が大いに期待されます。



当館のベテラン司書が講師となり、長年の豊富な経験に基づきお話ししました

(7) 図書館のお仕事体験(一日図書館員) [7月30日、31日、8月1日 参加者:計25人]

小学生1年生から4年生までを対象に、図書館の業務や仕組みの学習や仕事体験を通じて、図書館の魅力を伝えることを目的とした事業です。実際にカウンターに立って行う貸出・返却の実習や、普段入れない場所も含めて館内を見学するプログラムが特に好評でした。参加者からは「貸出や返却の仕事を体験出来て楽しかった」、「司書の人たちがやさしくて、図書館と本が好きになった」などの感想をいただきました。

毎年恒例の事業で、いつも大変人気があります。令和3年度から電子申請を利用した抽選制を実施していますが、今年度は118名もの方々にご応募いただきました。



まずは本の並びかたを説明します



本の背中のラベル、
こうなってたんだ！



最後は館長から修了証をお渡し
しました。お疲れさまでした！

(8) 中学生・高校生の図書館のお仕事体験 [①8月13日 ②8月15日 参加者:計8人]

中学生から高校生までを対象に、図書館の業務の学習や仕事体験を通じて、図書館の魅力を伝えることを目的とした事業です。本や図書館に興味を持ち、将来の仕事について考えている生徒に多く参加していただき、司書の仕事を具体的に体験してもらえる良い機会となりました。参加者からは「書架整理の大切さが分かったし、受験勉強の良い気分転換にもなった」、「元々本が好きだったが、図書館という場所や司書という仕事も素敵だと感じるようになった」などの感想をいただきました。



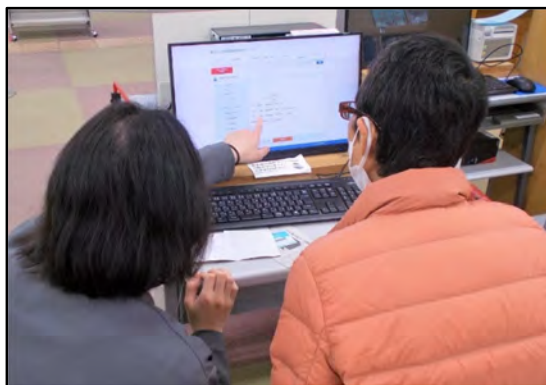
まずは座学で基本を学びます



予約された本を棚から探すお仕事中です

(9) 本の検索機 使いかた講座 [①3月25日 ②3月26日 参加者:計8人]

当館の利用者を対象に、ページの詳しい使い方を知っていただくことを目的とした事業です。令和6年1月にリニューアルされた利用者向け蔵書検索ページですが、窓口での日々のご案内だけでは十分にご説明できないこともあるため、参加者が落ち着いて使い方を相談できるイベントとして実施しました。参加者からは「今まで遠慮してなかなか相談できなかったのも、とても助かった」、「なんとなく使えてはいたが、細かい機能は分かっていなかったのも、有意義だった」、「自分で本を棚に探しにいたり、予約したりできるようになって嬉しい」などの感想をいただきました。



パスワードの登録方法や、検索結果の見方など、参加者一人ひとりの疑問やご要望に応じて、司書がマンツーマンで丁寧にご説明しました

【コラム】「りんごの棚」の新設

「りんごの棚」は、特別なニーズのある子どもを対象とした公共図書館サービスの一つとして、スウェーデンの図書館でスタートしました。すべての子どもたちが読書を楽しめるように、大きな活字の本や、点字の本などを集めたコーナーとして、当館でも今年度から3階に設置しました。今後、少しずつ本の種類と冊数を増やしていく予定です。



5 広報事業

(1) 子どもと読もう 今月の1冊

『広報よこはま ほどがや区版』に掲載している絵本の紹介コラムです。令和3年の1月から掲載を開始し、大人と子どもが一緒に楽しめる絵本を、司書が毎月1冊選んで記事を執筆しています。令和3年1月号から3月号までは試行実施していましたが、多くの読者に向けて絵本の魅力を伝えられる意義は大きく、令和3年4月号から正式に実施しています。

当館の2階児童フロアではコラムで紹介した絵本を月ごとに展示して、利用者が手に取って読んだり、借りたりできるようにしています。

『広報よこはま ほどがや区版』のウェブページの URL

https://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/kusei/koho/koho_hodogaya/

(2) タウンニュース

当館の事業予定を情報提供した結果、事業の予定や当日の様子が10回掲載されました。

掲載時期	記事タイトル
2025年4月24日号	4月から保土ヶ谷図書館の館長を務めている 近 和行さん
2025年7月30日号	夏休み特別閲覧室を開放 小中高生対象に
2025年8月19日号	児童にプロ体験を提供 図書館と県商工がコラボ
2025年9月11日号	保土ヶ谷区 写真撮影や工作など 20日、星天 qlay で初企画
2025年11月6日号	保土ヶ谷図書館 小学生向けの企画 学生ボランティアと共催
2025年11月13日号	読書バリアフリー講座 公会堂で11月19日
2025年12月25日号	「読書の魅力 早く気付いて」 人気動画配信者が登壇
2026年1月29日号	開業・副業の基本伝授 保土ヶ谷公会堂で講座
2026年3月19日号	星天フェア 地域を結ぶ5度目の祭典 親子中心ににぎわう
2026年3月19日号	本の検索機使い方講座 司書が対人で説明

(3) SNS

事業等の情報が、横浜市立図書館 X 公式アカウントに8回、横浜市立図書館ティーンズ担当 Instagram 公式アカウントに2回、横浜市公式 LINE アカウントに5回掲載されました。

(4) その他

- ◆横浜市消防局のSNS公式アカウントの動画に、横浜市消防局マスコットキャラクターの「ハマくん」が区内のクールシェアスポットを訪れた時の様子が収録されました。[2025年7月7日]

「X」の該当ポストの URL

https://x.com/yokohama_fire_b/status/1942059697793810681

「Instagram」の該当ポストの URL

<https://www.instagram.com/reels/DLymuMWB9qI/>

6 「図書館への意見・提案」

利用者の意見・提案等を館運営の参考にするため、館内に投書箱と用紙を設置しています。今年度は7件の投書をいただきました。その中から、代表的なものをご紹介します。

〈例1〉

意見 「3階の企画コーナーをいつも楽しみにしています。『戦後80年 戦中戦後の記録』がとてもよかったです。」

(対応) 3階の展示コーナーへのお褒めの言葉をいただき、ありがとうございます。

保土ヶ谷図書館では、利用者の皆様に読書への関心を高めていただくことを目的として、季節や話題性のあるテーマで選定した本の紹介を行っております。今後も、地域の歴史、文化等をはじめ、幅広いテーマについて取り上げ、図書館 HP でもご案内してまいりますので、ご期待ください。

〈例2〉

意見 「小六法があると良い。」

(対応) 「小六法」は現在「ポケット六法」という名称に変更されています。保土ヶ谷図書館では所蔵していませんが、市内の他の図書館が令和6年度版を所蔵していますので、ご予約いただければ取り寄せが可能です。また、「六法全書」は当館のカウンターにあります。ご利用希望の際はお申し出ください。

なお、各分野の小六法は市内各図書館で多数所蔵していますが、館内閲覧のみのものもあります。カウンターでご希望の分野等を仰っていただければご案内いたしますので、お声がけください。